

宍道湖

(しんじこ)

位置：北緯35度26分、東経132度57分／標高0.3m／面積：7652ha／湿地のタイプ：汽水湖／保護の制度：国指定鳥獣保護区特別保護地区／所在地：島根県松江市、出雲市／登録：2005年11月／国際登録基準：5、6、7、8

湿地のタイプ：汽水湖



西から見た宍道湖の全景

湿地の概要：

宍道湖は、島根県東部の斐伊川水系の下流部に位置し、中海を通じて日本海とつながる汽水湖である。その広さは約8200ヘクタールで、国内7番目の面積を有する湖である。水深は平均4.5m、最深部で6mである。

塩分濃度は、中海の海水の約2分の1に比べて、約10分の1と薄い。同じ水系の同じ汽水湖だが、二つの湖にはそれぞれの特色があり、淡水性および海水性の両方の動植物が生息する多様な自然環境を有する。

豊富な汽水性の生きものたち：

スズキ、モロゲエビ、ウナギ、アマサギ、シラウオなど名産珍味の「宍道湖七珍」で知られるように、宍道湖は汽水湖魚貝類の宝庫である。宍道湖で発見された日本固有種のシンジコハゼやヤマトシジミなど多様な汽水性種が生息しており、およそ80種が確認されている。なかでもヤマトシジミの漁獲量は日本一を誇っている。

我が国有数のガンカモ類の飛来地：

宍道湖一帯では200種以上の鳥類が確認されている。とくにガンカモ類は、

毎年4万羽を超える渡来があり、我が国有数の水鳥の飛来地である。なかでもキンクロハジロが2万羽以上、スズガモが5000羽以上確認されている。また、マガン、キンクロハジロ、スズカモは、全世界の水鳥の1種の個体数の1%以上を定期的に支え、コハクチョウは中海とともに我が国での集団越冬地の南限となっている。

嫁ヶ島の夕景：

宍道湖の東端にある嫁ヶ島は、周囲240mの小さな平板な島だが、その後方に沈む夕日のシルエットは日本の夕日百選のひとつとして知られ、四季折々、多くの観光客がおとずれる。

【キンクロハジロ】全長約40cm。頭から背、胸、腰、翼までが黒く、脇と腹部が白い海ガモの仲間。嘴は灰黒色で、頭の後ろに冠羽がある。ユーラシア大陸北部で繁殖し、日本に冬鳥として飛来する。潜水して採食するカモの代表種。宍道湖では10月～3月に見られる。

●関係自治体

松江市役所 Tel: 0852-55-5555
出雲市役所 Tel: 0853-21-2211
島根県庁 Tel: 0852-22-5111



シジミ漁のようす



キンクロハジロ

